

互いにバックアップを 農村塾初のサミット

村づくり推進のため、県内各地に結成されている農村塾が一堂に集まり、サミットが開かれました。各塾の活動効果を高めるとともに互いにバックアップをしよう、と、甘葉町公民館で行われた初のサミットには、つきよの、かんら、赤城、あすま、なんもく塾計、つまごい米米塾の

六塾から約五十人が参加。二月二十一日の初日は、あすま塾長である新井肇、京農大教授の「新しい価値観を求めて」と題する講話の後、各塾の活動紹介や今後の活動方針について討議、活発な意見交換が行われました。

翌日は、全員で町内を散策し、塾生の交流が図られました。かんらは現在第二期目、昭和六十二年にむら組しの人材育成を目的に開始されたもので、二十一世紀を展望した数々の研究テーマに取り組んでいます。



今後の活動をより積極的に——第1回農村塾サミット

優良河川

愛護団体

第三区

平成三年度の優良河川愛護団体に第三区（松井飯塚）が選ばれ、表彰状が贈られました。第三区河川愛護会では、昭和五十四年ころから県で実施する河川愛護月間に合わせ、同地区内を流れる一級河川・雄川の河川敷約一・五kmにおいて草刈り、除草、こき切り、ごみの収集などを実施、良好な河川環境の保全に努めてきたことが認められたものです。栄えある受表彰めでとうございます。



表彰状を手にとる区長の松井さん、右は区長代理の山田さん